

# 他都市事例(事業概要の比較)

	せんだいメディアテーク	ひと・まち・情報 創造館 武蔵野プレイス	山口情報芸術センター「YCAM」
都市名	宮城県仙台市	東京都武蔵野市	山口県山口市
外観			
竣工	2001年1月	2010年	2003年11月
施設概要	階数: 地下2階・地上7階 敷地面積: 3,948㎡ 延床面積: 21,682㎡ 用途: 図書館+ギャラリー+イベントスペース+ミニシアター等 開館時間: 9:00~22:00 休館日: 第4木曜日	階数: 地下3階・地上4階 敷地面積: 2,166㎡ 延床面積: 9,810㎡ 用途: 図書館+生涯学習+市民活動+青少年活動 開館時間: 9:30~22:00 休館日: 水曜日	階数: 地上2階 敷地面積: 14,536㎡ 延床面積: 14,808㎡ 用途: 中央図書館+美術館(メディアアートなど) 開館時間: 10:00~20:00 休館日: 火曜日
立地	地下鉄勾当台公園駅より徒歩6分(仙台駅より1.8km)	JR武蔵境駅南すぐ、農水省食糧倉庫跡地	JR湯田温泉駅から徒歩20分、県立体育館・山口県立山口中央高等学校移転跡地
事業費	約130億円	約82.5億円(うち土地取得費25.5億円)	100億円超
事業手法	設計コンペ(伊東豊雄建築設計事務所)	設計コンペ(kw+hg architects)	設計コンペ(磯崎新アトリエ)
運営	指定管理者(公益財団法人仙台市市民文化事業団) 期間: 平成24年4月1日から平成29年3月31日	指定管理者(公益法人武蔵野生涯学習振興事業団)	指定管理者(公益財団法人山口市文化振興財団)
図書館	蔵書数54万冊、閲覧席136席	蔵書数16.5万冊(中央図書館は別にあり)	・蔵書数約33万冊
ホール等	スタジオ(情報発信や創造的活動の場、7階) ギャラリー4200(天井高が4.2mのオープンな展示空間、6階) ギャラリー3300(天井高が3.3mの固定壁で6つに仕切られたギャラリー、5階)、映像音響ライブラリー・相談カウンター(2階)など	・4階フォーラム(最大200人)、3階会議スペース等 ・地下2階はサウンドスタジオ、パフォーマンススタジオ、クラフトスタジオ等	・スタジオA(オープンスペース、最大450席)、スタジオB、スタジオC(シアター型、100席)、ホワイエ(1,2階の吹抜)
特徴など	・13本の鉄骨独立シャフトと鉄骨フラットスラブで各階異なる平面計画を採用し、全面がガラス張り以外から直接見える一方で中からもケヤキ並木の定禅寺通を見渡せるなど建築的な特徴はもちろんのこと、「メディア・情報」をキーワードとして美術や映像文化の活動拠点として様々なプログラムを展開していることでも知られている。 ・バリアフリー支援も実施。	・図書館、生涯学習支援、市民活動支援、青少年活動支援の機能を併せ持った施設。地下2階を青少年フロアとし、地下2階の一部、地下1階、地上1、2階を図書館フロア、3、4階を生涯学習・市民活動支援フロアとし、多世代が利用する。 ・武蔵野プレイスに隣接して2000㎡の都市公園を一体的に整備。1階中央がカフェで、駅前が憩いの場に。	・周辺にTV放送局、新聞各社、NTTなどメディア系の施設が集積することもあり、情報・メディアとアートをコンセプトとして開館当初から取り組んできた。子ども達への教育普及に力を入れ「メディアワークショップの実践」を通じ、メディアリテラシー能力を高める取り組み実施。 ※第6回キッズデザイン賞 子どもの未来デザインリテラシー部門 最優秀賞受賞

# 他都府

	シティホールプラザ アオーレ長岡	みんなの森 ぎふメディアコスモス	岡崎市図書館交流プラザ「りぶら」
都市名	新潟県長岡市	岐阜県岐阜市	愛知県岡崎市
外観			
竣工	2012年2月	2015年7月	2008年11月
施設概要	階数: 地下2階・地上4階 敷地面積: 14,938㎡ 延床面積: 35,498㎡ 用途: 市役所+アリーナ+市民ホール+商業施設 開館時間: 8:00~22:00 休館日: 年末年始	階数: 地上2階 敷地面積: 14,725㎡ 延床面積: 15,295㎡ 用途: 中央図書館+市民活動交流センター+多文化交流プラザ等 開館時間: 9:00~21:00 休館日: 毎月最終火曜日	階数: 地上3階 敷地面積: 約25,000 延床面積: 約18,000㎡ 用途: 中央図書館+市民活動総合支援センター(生涯学習、市民活動、男女共同参画、国際交流)+文化活動推進等 開館時間: 休館日:
立地	JR長岡駅前、厚生年金会館跡地+公園	JR岐阜駅より約2km、岐阜大学医学部等跡地	名鉄岡崎駅より徒歩20分ほど
事業費	131億円	約103億円	約100億円
事業手法	設計コンペ(隈研吾建築都市設計事務所)	設計コンペ(伊東豊雄建築設計事務所)	設計コンペ(佐藤総合・千里建築設計特定設計業務共同企業体)
運営	直営 運営をNPO法人ながおか未来創造ネットワーク、施設管理(ハード面)を専門業者に委託。	直営 総合窓口等を専門業者に委託	直営 市民サポーター「りぶらサポータークラブ」を組織し、市民と市の協働で運営
図書館	—	・蔵書数30万冊(収納能力90万冊) ・閲覧席、学習席を約910席、曲線の屋根に県産材を利用、壁をなくし「グローブ」と呼ばれる展示や閲覧等のスペースを有する。金華山テラスなど屋外テラスも充実。	・蔵書数71万冊(2014年、収容能力100万冊) ・閲覧席約700席
ホール等	・24時間開放の「ナカドマ」を中心とする空間構成。 ・「アリーナ」は、多目的利用で観客席は2階955席、3階1,217席、1階ロールバック席780席、可動席616席を有する。ナカドマとアリーナの間は壁は電動で開閉可能で、壁を開けると約5,000㎡の空間となる。	・みんなのホール(230席)、みんなのギャラリー(展示ギャラリー)、ドキドキテラスなどのオープンスペース、スタジオ等を配置。	・ホール(292席)、スタジオ・録音室 ・内田修ジャズコレクション展示室、岡崎むかし館を併設。
特徴など	・「アオーレ長岡、フェニックス大手などの再開発事業により市役所機能を中心市街地内にあえて分散配置し、「回遊性やまちなかのにぎわい創出」「まちに溶け込んだ市民と協働する開かれた市役所スタイルの確立」「交通の拡散によるスムーズな流れ」等を目指す。施設が整備される。	・岐阜市出身の東京藝術大学の日比野克彦氏が開館前から関わり、市民参加によるオープニングイベントや秋の市民自主イベントを開催。図書館長を公募したことも知られる。 ・隣接して240mの並木道、広場を整備(有料で貸出)。 ・事業者を公募し、施設内にコンビニ(ローソン)がオープンより、カフェ(スターバックス、2016年2月より)併設。 ・隣接地には今後市役所新庁舎を建設する予定。	・岡崎城の城郭の一部であり岡崎城天守閣を望む眺望ライン(ピスタライン)上に当たることから、建設デザインも3階建てに抑えた。 ・内田修氏は岡崎市に生まれ育ち病院を開業する傍ら、ジャズの愛好家としてヤマハ・ジャズクラブを設立。そのコレクションが展示されている。 ・屋外のストリート広場を中心市街地活性化につながる催しを対象に貸出している。

他都

	ルミエール府中(府中市市民会館・中央図書館 複合施設)	くわなメディアライヴ	ホルトホール大分(大分市複合文化交流施設)
都市名	東京都府中市	三重県桑名市	大分県大分市
外観			
竣工	2007年12月	2003年10月	2013年7月
施設概要	階数: 地下1階、地上5階 敷地面積: 5,863㎡ 延床面積: 14,190㎡ 用途: 図書館+市民会館 開館時間: 9:00~22:00 休館日: 第1火曜日、第3月曜日とその翌月	階数: 地上5階 敷地面積: 3,191㎡ 延床面積: 9,114㎡ 用途: 中央図書館、中央保健センターと勤労青少年ホーム、多目的ホール、託児室、カフェテラス、2階に、3階・4階に 開館時間: 9:00~21:00 休館日: 年末年始	階数: 地下1階・地上4階 敷地面積: 18,971㎡ 延床面積: 36,905㎡ 用途: 市民ホール+図書館+大学サテライト+総合社会福祉保健センター+産業活性化プラザ+中央こどもルーム 開館時間: 8:30~22:30 休館日: 毎月第2・第4月曜日
立地	京王線府中駅より徒歩10分ほど	JR・近鉄桑名駅より徒歩6分	JR大分駅すぐ
事業費	—	建物本体36億円	129億円
事業手法	PFI事業	PFI事業	PFI事業
運営	SPC(PFI府中市市民会館・中央図書館株式会社)代表企業: 株式会社大林組 構成員: 株式会社京王設備サービス、株式会社図書館流通センター、株式会社佐藤総合計画 期間: 2005年~2022年	SPC(桑名メディアライヴ株式会社) 代表企業: 鹿島建設株式会社 構成員: 株式会社図書館流通センター、積村ビル管理株式会社、UFJセントラルリース株式会社(現、三菱UFJリース株式会社)、佐藤総合計画、株式会社三重電子計算センター 期間: 2002年~2034年	建設と管理: SPC(株式会社大分駅南コミュニティサービス) 代表企業: 日本管財株式会社/構成員: 前田建設工業株式会社、東亜建設工業株式会社、梅林建設株式会社、株式会社佐伯建設、株式会社九電工、株式会社菱熱 期間: 2009年~2028年 運営: ホルトホール大分みらい共同事業体(指定管理者) 代表: 日本管財株式会社/構成員: 株式会社九電工、株式会社コンベンションリンクージ、株式会社プランニング大分、学校法人後藤学園 キカン: 2013年7月~2016年3月
図書館	蔵書数約90万冊(平成26年度末現在)	・蔵書数約30万冊	・蔵書数60万冊
ホール等	コンベンションホール飛鳥(最大700席、可動壁で4分割された状態が通常で、一体利用可能)	・多目的ホール(最大250人)	・市民ホール(大ホール1,201席、小ホール202席(可動120、移動82席)、スタジオ3つ) ・総合社会福祉保健センター内に17の会議室
特徴など	・市民会館は平成27年度まで、SPCとは別で公益財団法人府中文化振興財団が指定管理者として運営。平成28~平成34年度はSPCの構成員である京王設備サービスが新たな指定管理者として採択。	・全国初の図書館でのPFI導入事例。図書館では先進的にICタグによる管理、自動貸出機といった設備を備えている。	「文化」「教育」「情報」「福祉」「健康」「産業」などの機能を有する。 ・サテライトキャンパスおおい(県内大学等による講義) ・まちづくり情報プラザ ・総合社会福祉保健センター ・産業活性化プラザ(支援ルーム、セミナールーム72席・45席の2部屋、3つの創業支援ルーム) 中央こどもルーム

# 他都

	ミュージア川崎	千里文化センター「コラボ」
都市名	神奈川県川崎市	大阪府豊中市
外観		
竣工	2004年7月(オフィス棟「セントラルタワー」は2003年12月竣工)	2008年2月
施設概要	階数: 地下2階・地上27階 敷地面積: 13,300㎡ 延床面積: 114,322㎡ 用途: 事務所+店舗+文化ホール(シンフォニーホール1,997席 他) 開館時間: 9:00 ~ 22:00 休館日: 年末年始	階数: 地上4階(1階がバスターミナル) 敷地面積: 3,140㎡ 延床面積: 9,394㎡(バスターミナルを除くと7,330㎡) 用途: 市役所出張所、老人福祉センター、保健センター、図書館、公民館 開館時間: 8:30~21:00 休館日: 年末年始のみ
立地	JR川崎駅すぐ、老朽住宅団地・大規模工場跡地等の低未利用地(一部)	地下鉄千里中央駅すぐ、千里中央地区再整備事業エリア
事業費	—	—
事業手法	市街地再開発事業	事業コンペ(「千里中央地区再整備事業」のうちの一事業)※
運営	指定管理者(川崎市文化財団 グループー公益財団法人川崎市文化財団、株式会社シグマコミュニケーションズ及び サントリーパブリシティサービス株式会社による共同事業体)	直営(市役所出張所、老人福祉センター、保健センター、図書館、公民館の5施設で構成。市民協働部が施設の一体的に運営管理)
図書館	—	・蔵書数約12万冊(豊中市は中央図書館がなく複数の図書館に分散して所有)
ホール等	・シンフォニーホール(1997席)	・多目的な小スペース「コラボひろば」
特徴など	・ミュージア川崎に整備されたシンフォニーホールが市民の芸術文化活動の拠点、東京交響楽団の活動拠点となり、「産業のまち」から「音楽のまち」へと都市イメージの転換を図る。隣には商業拠点となるラゾーナ川崎も整備され、川崎駅前の都市拠点となっている。	・各施設長と地域団体の代表が参画する市民運営会議が、ここで行われる事業の評価や施設間連携事業のあり方の検討を行っている。 ・施設の一部「コラボひろば」と「屋上庭園」の運営について、毎年公募する千里文化センター「コラボ」市民実行委員会と毎年協定を結ぶ。コラボ広場では定期的に、多文化カフェ、転勤族カフェなど様々な事業を市民が企画運営している。

※大阪府、豊中市、財団法人大阪府千里センターの3社が所有する資産を事業コンペにより民間事業者グループ(代表:住友商事(株)、構成:阪急電鉄(株)、オリックス・リアルエステート(株)、阪急不動産(株)、(株)ヤマダ電機、(株)西大阪地所、(株)ミキシング、(株)竹中工務店)を採択し、事業者グループが一括して2006~2011年度にかけて周辺を含む再開発を事業)